

今日は赤穂浪士の討ち入りの日

しかし、今は民主主義の時代です

教員の無賃残業を無くし  
たい

全国で過労死が問題になっていま  
す

教員の中にも過労死が

なぜ解決しないのか

民間は社長が責任

教員の世界は社長が責任をとろう

だれ？

とする覚悟がない

## 教師の自主的な活動時代

自分で考えて仕事

全てが職員会議で決められていた

## 平成時代

自宅研修が無くなる

## 平成12年

職員会議は学校長が主宰

自主性がなくなるきっかけ

## 平成13年4月

組織としての活動が要求される

人事評価制度が導入

時間外勤務が増える

教員だけ残業代が出ない

平成20年

登校指導出勤

時間調整なし

時間外勤務が当たり前

残業代を出してもらわない  
いと仕事が減らない

労働基準監督署に相談電話

平成28年

自分の学校の労働環境を変えるだけ  
では意味がない

日本全体を変えなくては

若い人たちに引き継いで  
はいけない

仕事が強要されている

ただ従うしかない

病気になっても不思議でない

自主的な活動ではなく勤務

選択の自由があるようでない

逆らえないものがある

従うしかない

宿題内容が学校で統一

休み時間は宿題確認

休憩時間も奪われる

休憩時間にも別な仕事が入る

無言配膳を指導

無言清掃を指導

自分の仕事をする時間はない

自分の仕事は児童が帰った後

1時間しかない

休憩時間が30分入っている

学校長は

時間外勤務を命じられない

学校長は

命じているのに気がつかない

教員は

自主性は失われています

仕事を精選する権限がない

意見を言うこともできない

教員の職務と勤務態様の  
の特殊性はない

勤務時間内に終わらない仕事を命じることは、

時間外勤務を命じることと同じである

田中まさお